社協だより　令和３年10月号　No.82

しあわせ

編集発行／
河合町社会福祉協議会
〒636-0061
奈良県北葛城郡河合町山坊24番地3 河合町総合福祉会館「豆山の郷」内
☎ 0745-58-2734　FAX 0745-56-3820

■星和台クリニック ☎ 0745-31-2071 ホームページ https://www.kouseikai-med.com/seiwadai/

私のトリセツ（取り扱い説明書）

「わたし」＝【名前：堀井康弘】の商品説明

★仕様（特徴、こんなことできます、おススメポイント）

・内科医です。専門は、腎臓内科ですが、奈良県立大卒業後、泌尿器科専門医を取得した後、大阪大学に研究生として入学し、医学博士を取得。ロックフェラー大学で2年間研究した後、内科に転向しているので内科だけでなく泌尿器科疾患も診させて頂いてます。

・資格：
　・臨床内科認定医
　・泌尿器専門医
　・透析医学会専門医
　・指導医日本体育協会認定スポーツドクター
　・認知症サポート医

★用途（こんな時、こんな場面で力を発揮します）

・かかりつけ医として患者様の健康管理だけでなく、往診を含め自宅で最後を迎えたい方のための看取りも積極的に行っています。

「わたし」の上手なご利用方法

★使用例

・当院は、私以外にも
　呼吸器専門の副院長
　循環器専門の副院長（女医）
　女性泌尿器科外来（女性泌尿器科医）
　皮膚科専門医、整形外科医
　がいますので、それぞれの患者様のニーズにお応えできます。

「わたし」のこれからの目標

・開院して27年が経過し、今後も引き続き地域医療に貢献してため娘を後継者として育てていく予定です。現在、私は、奈良県医師会の理事として中央と地区医師会のつなぎ役として頑張っており、今後も地域医療に貢献できるように頑張っていく所存です。

10年前から長唄三味線を習っています。三味線というと津軽三味線を想像する方が多いのですが、長唄は歌舞伎音楽で歌舞伎役者の後ろで演奏しているのを観られた方もあると思います。私も、一度、片岡　愛之助さんの後ろで演奏させて頂いたことがあります。最近は、長唄だけでなく小唄や小鼓も習っています。日本の伝統芸能を守っていくため少しでも貢献できればと思っています。

「わたし」を回復させるメンテナンス方法

★好きな言葉、好きなこと、心身共に回復すること　などなど

・海が好きで、現在、奈良県セーリング連盟の会長をしています。船を出して波の音と風の音だけが聞こえる中にいるとリラックスでき嫌なことも忘れることができます。

★伝えたいことなんでも

・皆さんが、安心して生活を営むことができるように、地域医療に貢献して参りますので、お気軽にお声をおかけください。

福祉有償運送事業利用者に対してのアンケート調査報告

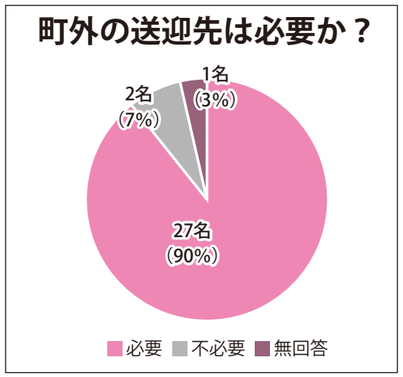
●実施の目的

イオン西大和店の閉店に伴い、利用者様の不安が生じることが想定され、当社協で協議を行なった結果、当事業で実施している移動支援のご利用者様を対象に「送迎先の見直し」や「不便に感じること」などを実際の声として拾い上げ、利用者満足度の向上や、より良い事業の充実に繋げることを目的に、下記のとおりアンケートを実施いたしました。

●アンケートの実施期間　令和３年６月中旬～７月10日
●配布数　３０枚
●回答者数　３０（重複回答有）

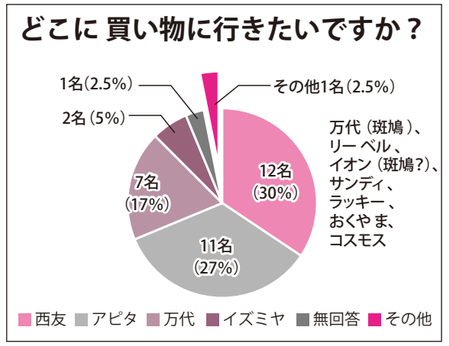
Q1 イオン閉店に伴い町外送迎先の追加は必要ですか？

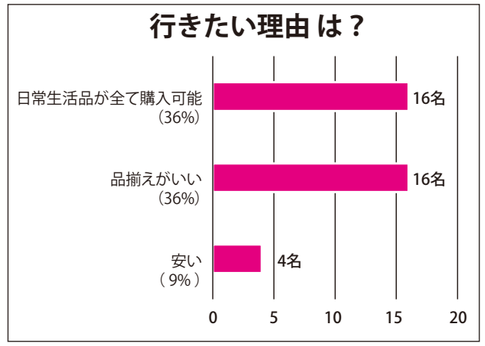
●必要　２７名
●不必要　２名
●無回答　１名



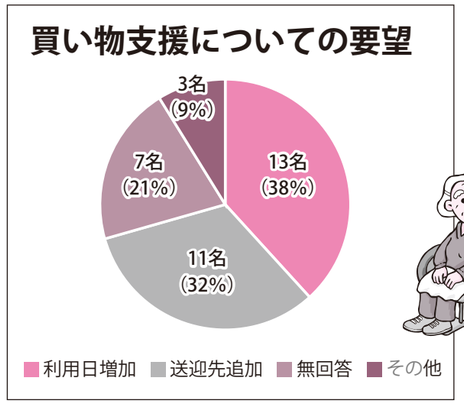
Q2 必要と答えた方にどこへ行きたいか？またその理由は？（複数回答有）

●西友　：６名　２小校区　５名　１小校区　１名　無回答
●アピタ　：５名　２小校区　６名　１小校区
●イズミヤ：２名　１小校区

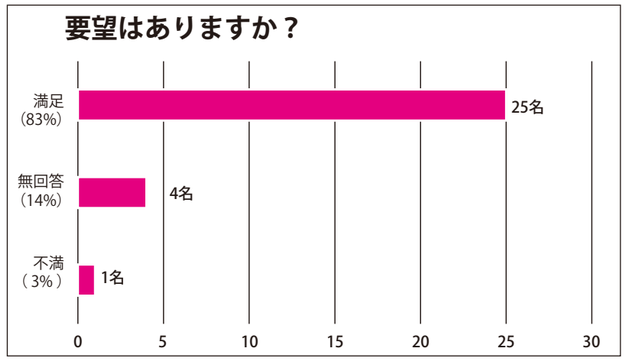




Q3 買い物支援についての要望は ありますか？（複数回答有）



Q4 福祉有償運送に関しての要望は ありますか？



■アンケートを実施して社会福祉協議会としての今後アンケートにご協力を頂いた皆さまありがとうございました。ご協力頂いたアンケート結果を基に、社会福祉協議会としては住民の皆さまが安心できる交通手段の確保に向けて取り組んでいきます。

アンケート結果における社会福祉協議会としての考え方ですが

①お買い物サービスの範囲を河合町内とさせて頂きます。

・アンケートの結果では、町外での買い物をご希望される方が大半でしたが、町内のお店を巡回することで希望される日常生活用品等の購入をすることは可能との判断からサービス範囲を町内とさせて頂きました。
・今回、決定した町内に限ることに関しては、1年後に評価して、利用される皆さまがご不都合が生じていないかを評価し見直しをさせて頂きます。

②町内における移動支援を協議していきます。

・現在、町内の移動手段や支援を協議し、新たなサービスを構築するために協議を行っています。現在は、行政機関における参加を福祉部しかしてもらえず、あまり進捗していませんが、今後は、河合町役場全体で考えて頂けるように、会議への参加を継続して呼びかけ町内における移動支援の構築を3年後を目標に構築していきます。

町受託事業　河合町生活支援体制整備事業

●生活支援体制整備事業とは

高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる体制（支援）を地域の皆さまと一緒に整備していくものです。

～　今回は、星和台公団での取り組みについて　～

7 月 31 日に、イオン西大和店が閉店になり、星和台公団で「見守り活動」などをされている活動者の方から、お買物について『不安の声』を聞くことが多くなり、生活支援コーディネーター（略して SC）へ相談がありました。

　そこで、SC のネットワークを活かして『市民生活協同組合ならコープ』と連携し、利用に向けた説明会を開催致しました。

住民

「イオンが無くなったらお買物に困るねぇ …」

活動者

「そうやねぇ、イオン無くなったら、
このへんはお買物できるところが余りないものね…」

「そうや、社協の生活支援コーディネーターに
相談してみよう」

「どうされましたか？」
「ああ、それは大変ですね何か出来ることは
ないかなぁ…」
「そうだ！ならコープさんの説明会を開いてみては
どうでしょう？」

活動者

「それは名案だわ！是非やってみましょう！」
「気になる方たちに声掛けしてみます！」

「ならコープは暮らしの全般を支えることを目的に
活動している団体です！
食品販売以外にエアコン掃除なども承っています」
「品物は、ご自宅の前までお届けすることも
出来ますよ！」

ならコープ

住民

「おうちまで持って来てくれるのは有難いね！」
「うちも始めてみようか。これで少し安心だね♪」

これだけで不安が全て解消したわけではありませんが、生活支援コーディネーターとして、「住民の声に耳を傾け、出来ることを探し、やれることをやってみる」という姿勢を今後も大切にし、住民や地域、企業等の社会資源との連携から生活を支援する体制を一緒に整備していけたらと思っています。

※「説明会」等のご要望がございましたら、お気軽にご相談ください！

≪生活支援コーディネーターが送る今回のキーワード≫

『千里の道も一歩から！』です

【 お問合せ先 】　生活支援体制整備事業　（担当）松尾・弓戸・遠藤

西なぐら地域の居場所

◆きっかけ

西なぐら地域では共同浴場がなくなり、地域住民から交流の場がなくなって困っているとの声を聴き、地域住民さんとともにコロナ禍で立ち上げた新たな「地域の居場所」です。

◆雰囲気

「楽しく安全に集まろう」をテーマに地域の皆さまが、みずから積極的に社会参加し、交流をはかることで人との「つながり」が薄れないように足を運んでくださっています。

※開催に関してはコロナ対策を講じ、家族様等にご相談の上、ご参加をお願いしています。

◆やっている事

自宅で出来る棒体操をはじめ、行政･包括に講師依頼し「防犯のお話」「認知症に関するお話」「熱中症に関する話」をしてもらい参加者からは「居場所があることで外出する機会が出来た」「ためになる話だった」「参加してよかった」などの声を頂きました。

棒体操の様子

防犯のお話

熱中症のお話

◆「コロナ禍でもやろう！」……参加者の想い

コロナ禍で、色々な地域活動が消極的になっている中、「地域で唯一の楽しみの場」、「地域に必要な我々の居場所」「楽しみにしている人のためにコロナ禍でもやろう」という参加者の強い想いから、コロナ禍でも必要性を感じて頂き自主的に参加して頂いています。

◆「じゃあやりましょう！」……社協の想い

社会福祉協議会は、住民の皆さまの想いや主体性を応援したいと考え、コロナ禍での開催に対しては、批判もあると思いますが活動の継続をお手伝いさせて頂いてます。
そしていつか、この場所から、地域の助け合いや支え合いの活動が生まれることができればと私たち社会福祉協議会は考えています。

「できない理由を出しあうより、どうすればできるのか」を一緒に考えていけたらと思います。

お話の様子

問い合わせ先：☎ 0745-58-2734
河合町社会福祉協議会　担当：松尾・弓戸・遠藤

現在お住いの地域に居場所や通いの場が無い、
また是非欲しいなどの思いが　あれば一度、社会福祉協議会へご相談ください。

※一緒に地域の居場所を立ち上げていきましょう。

河合町社会福祉協議会のアンケート結果報告

コロナウイルス感染の影響で長期化する中、人と人が互いに距離を取り接触する機会を減らし地域の住民等による地域福祉活動やボランティア活動は休止、延期、自粛が余儀なくされました。こうした活動に支えられた方々は、社会参加の機会を失くし、閉じこもりがちな生活になってしまうなどの課題が生じています。

コロナウイルスに対応して新たな取り組みが求められている中、社会福祉協議会が得意とする地域福祉活動でありますが、職員だけでなく社会福祉協議会運営の支えであります役員・評議員の皆さまと一緒に考える場の一つとして勉強会をするために社会福祉協議会は、役員・評議員の皆さまへアンケートを実施いたしました。結果は、以下のとおりです。

❶勉強会について？

勉強会に参加する　８人
勉強会に参加しない　９人

❷理想とする社会福祉協議会とは？

皆さまが又は、住民の皆さまがイメージ（理想）する望まれる社会福祉協議会像がありましたら教えていただけないでしょうか。

①高齢化が進み、ひとり暮し老人の方が増加している中、安心に暮らせる町、地域であることが重要だと考えられます。

②いろいろな福祉サービスがありますが、手続き等の煩わしさを避け簡単に支援していただける生活支援ボランティアが必要だと思います。

③社協職員が、町民ニーズを掴み、一方向で事業活動は難しく双方向に活動を願いたい（下目線ではなく同レベルで活動を願いたい）

④福祉活動は、大変な業務であり、日々の活動に対しお礼申しあげます。

⑤地域福祉活動のパイオニアとして、今日まで様々な取り組みを頂き誠にありがとうございます。今、このコロナ禍でふさぎ込むことが多くなっております皆さま方の心を少しでも明るくなれますように。

⑥官民のつなぎ役

⑦限られた財政の中で、出来ることは限られていますが福祉は大切なことなので、今は、思いつかないですがよろしくお願いします。

⑧河合町は、昔からの歴史や風土から培ってきた文化と近年、他から移住して来た人々の求める幸福との間に異なる面もあると思う。こう言った違いも理解した上での町としての福祉事業を考え、活動する福祉協議会であって欲しいです。

❸自由に記入してください。

①子ども食堂のような高齢者を対象にしたハッピー食堂を設置して人と人との交流を持ちつつ、生きる喜びを与えてあげる場所を検討して下さい。

②災害ボランティアセンター設置（災害時）にあたり、発災時に求められるが平時には遭遇することなく、関心なく、平時には発災シュミレーションを行い日頃から訓練が求められる。

③人権擁護委員をしていますが、心配ごと相談事業が社会福祉協議会であることを知らなかったです。

④1年に1回か2回いろんな障害者の方と半日、簡単な小物を作ったり運動をしたりして遊びました。コロナが終息すれば1度考えて下さい。

⑤令和3年度は、防災士研修にぜひ受講し、社協の防災スキルアップを求めます。

⑥今年度中に町内の防災ネットワークの構築を町長に提言中。

⑦他社の福祉活動について、交流会をお願いして意見交換をして良い所は検討して、少しでも住民が喜ぶ活動が必要ではないでしょうか。

⑧社会参加にその場に足を運んで参加出来なくても「いのちの電話」の取組みがあれば河合町に専用の「で・ん・わ・し・よ・う」と電話による本人の生の声を届く様な機会を設けて頂き、私達は一人ではない・みんな・みんな・見守って下さるとゆるやかな社会参加と笑顔の溢れる河合町を願ってやみません。「笑顔の電話の設立」をよろしくお願いいたします。

社会福祉協議会の運営を支え手であります役員・評議員の皆さま、たくさんのご意見（声）をいただき、ありがとうございました。

コロナ禍で大変ではありますが、ご参加していただける皆さまにはお手数をお掛けしますが、社会福祉協議会の未来を一緒に創り上げていきましょう。よろしくお願いいたします。

担当：岩田　弓戸　岡山

福祉大会「ふれあいの集い」の中止について

コロナ禍により、三密予防の観点から国や奈良県、河合町の指導の下、イベントなどの制限、中止等を指示されています。

また、「ふれあいの集い」を開催する、河合町総合福祉会館「豆山の郷」も令和３年 11 月頃までワクチン会場になっており使用の制限を河合町に示されているところです。

本年５月には新型コロナウィルス第４波の影響で公共施設の使用制限が発令され、地域福祉活動を協議する場面や集まることができませんでした。

現在も、オリンピックが開催されましたが、第５波の真っただ中であり、終息のめどが立ってないこと等を鑑みて、令和３年　第 34 回福祉大会「ふれあいの集い」を中止することといたしました。

皆さまにおかれましては、参加、協力への準備を進めて頂いている中で、ご迷惑をおかけしますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

●「ふれあいの集い」の今後について

現在までのふれあいの集いを評価した上で、今までの開催内容（マンネリ化）に囚われない形態を示していきたいと思っております。

そのため、企画や発想を広く意見収集していきたいと考えております。

具体的には

- **今まで参加して頂いた方の声を聞き、「ふれあいの集い」の評価を行う**
- **今までのプログラム（模擬店・オンステージ等）にとらわれない**
- **イベントからの脱却**
- **プログラムの一般公募**
- **運営委員会及び実行委員会の役割の見直しを行い、一般住民からの実行委員会への参画募集**

このように、皆さんが集いたい、参加したいと思って頂けるような「ふれあいの集い」を目指し、河合町に地域福祉活動の花を咲かせるように職員一丸となって邁進してまいりますので、皆さまのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和３年度　社会福祉協議会活動協力金のお願い

河合町社会福祉協議会が進める「人とふれあい　やさしさに出会い　住んでよかった河合町」の地域づくりは、住民や企業の皆さまからの社会福祉協議会活動協力金で支えられています。介護、子育て、障害、生活困窮、災害等に安心して暮らせるまちづくりを進めてまいりますので、ぜひ、ご協力をお願いいたします。

社会福祉協議会活動協力金
一口　500円～

社会福祉協議会特別協力金
一口　5,000円

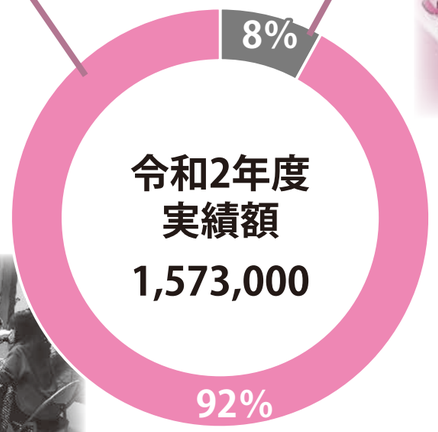
いずれも何口でも結構です。

＊社会福祉協議会活動協力金は所得税の寄付金控除の対象となります。
（その年中に支出した寄付金の合計金額 2,000 円以上が控除の対象）

令和２年度　社会福祉協議会活動協力金　ご協力ありがとうございました！

地域福祉活動に
地域サロン活動における支援等の地域活動費用に

町全体的な活動に
社会福祉協議会広報誌



赤い羽根共同募金運動にご協力をよろしくお願いします。

今年も、10 月 1 日から赤い羽根共同募金運動が実施されます。

今年の目標額を、1,242,000 円とさせて頂き、戸別募金、街頭募金運動等を行い、目標額の達成を目指していきます。

また、本年も昨年に引き続き、町内の企業等に協力を頂き、募金箱の設置、職域募金をご協力して頂けることになりました。

皆さまのご協力をよろしくお願いします。

令和３年度　目標額　1,242,000円

■実施期間／ 10 月 1 日～ 10 月 31 日

令和３年度　赤い羽根共同募金運動協力店等

●河合診療所　●はえの医院　●大浦内科　●藤岡医院　●川村医院
●医療法人康成会　星和台クリニック●坂上医院　●山下内科クリニック
●山下皮膚科クリニック　●みどり薬局
●スマイル薬局広瀬台店　●星和台薬局　●リサイクルマートプラス西大和
●ドルチェカンパーニャ　●マクドナルド法隆寺インター店
●カレーハウス CoCo 壱番屋法隆寺インター店　●コメリ河合店　●焼き鳥　大吉西大和店
●ファミリーマート　池部店　●認知症グループホームアシスト緑の丘
●ウェル　エイジング　プラザ　奈良ニッセイエデンの園
●西大和星和台郵便局

＊協力店等に関しては現時点で協議をして頂いている事業所もあり、
次回の社会福祉協議会だよりにて、追加報告をさせて頂きます。

社協だよりの詳細、ご質問につきましては……

河合町総合福祉会館『豆山の郷』内　河合町社会福祉協議会までご連絡ください。
☎ 0745-58-2734　FAX 0745-56-3820